



日本学校心理士会 2024 年度大会のご案内

大会テーマ

『子どもたちが充実した日常をおくるために、
学校心理士ができる支援を考える』

期 日：2024年10月27日(日)～11月5日(火)の10日間

開催方式：オンデマンド（一部オンライン）

主催：日本学校心理士会

後援（一部申請中）：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国特別支援学校長会、全国高等学校長協会、全国国公立幼稚園・子ども園長会、公益社団法人日本教育会、一般社団法人学校心理士認定運営機構、一般社団法人日本特殊教育学会、一般社団法人日本発達障害学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本LD学会、日本応用教育心理学会、日本生徒指導学会、日本学校カウンセリング学会、日本コミュニケーション障害学会、日本学校メンタルヘルス学会、日本学校教育相談学会、一般社団法人日本心理学諸学会連合、一般社団法人日本心理臨床学会、公益社団法人日本公認心理師協会、一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会、日本キャリア教育学会、NPO 法人日本教育カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、一般社団法人日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構、一般社団法人日本臨床発達心理士会、一般社団法人日本学校心理学会

2024 年度日本学校心理士会大会のご案内

正月の元旦に、能登半島地震という大きな災害が発生し、そして翌日にはその救援に駆けつけようとしていた海上保安庁の飛行機が羽田空港で衝突炎上するという痛ましい事故で令和6年を迎えました。これらの災害、事故で亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方、そのご家族、関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスへの事後対応のみならず、震災への対応、さらには不登校の増加やいじめ問題への対応など、学校には子どもたちが健康で充実した学校生活を送ることができるようにすることが求められています。したがって、学校心理士には、「チーム学校の一員」として、不安な社会情勢の中でも、将来に希望をもって逞しく成長できるよう子どもたちを支援することが期待されています。今年度の大会準備委員には福島学院大学の梅宮れいか先生と鳴門教育大学の川上綾子先生が担当してくれることになり、今年度の大会テーマを準備委員会として、「子どもたちが充実した日常をおくるために、学校心理士ができる支援を考える」とし、各研修プログラムを計画・準備していただいています。

本年2024年度の大会については、2020年度にこの大会を開催できなかったことから、昨年、一昨年度と同様にオンデマンド（一部オンライン）方式で多くの皆様に更新ポイントを取得できるように開催いたします。なお、更新ポイントを8ポイントとする特例は今年度限りとなります。

現在計画中のプログラムや開催要項は以下の通りです。詳しくは、大会ホームページをご覧ください。会員の皆さまにとって、多くの学びの機会が得られますように、研修は12講座を予定し、会期中であれば、インターネット環境のある場所で、いつでも受講できるように準備しています。ぜひ多くの方の参加を期待しております。

日本学校心理士会 2024 年度大会長

日本学校心理士会会長 山谷 敬三郎

1. プログラム

※時間は変更の可能性あり

10月27日(日)		
午 前		
9:30~10:00 ライブ	開会行事（開会挨拶）	
10:00~12:00 ライブ (見逃し配信 予定有り)	基調講演 1 ※	
	<講師> 仲村 健二（文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長） <演題> 「多様な子どもたちが安心して学べる学校づくり」	
	基調講演 2 ※	
	<講師> 菊地 史晃（こども家庭庁支援局総務課企画官） <演題> 「こども家庭庁におけるいじめ防止・不登校対策の取組について」 指定討論※ 石隈 利紀（学校心理士認定運営機構理事長） 司会 山谷敬三郎（日本学校心理士会会長）	
※をすべて受講で A:1ポイント		
午 後		
13:00~14:00 ライブ	総 会 ●配信場所：Zoom	
14:20~15:10 ライブ	学校心理士養成大学院教員連絡協議会 ※「学校心理士」資格審査条件等について ●配信場所：Zoom	

※システム管理のため 10月24日（木）から研修講座へのアクセスが可能です。
 ぜひ事前にアクセスし、ネット環境をお試し下さい。

10月24日（木）～11月5日（火）	
オンデマンド ※期間中いつでも 何度でも視聴可能	研修講座①～⑧ 《A:1ポイント》 研修講座の概要についてはHPをご覧ください ①池田 誠喜（鳴門教育大学） 「3段階の心理教育的援助サービスとしてのレジリエンス」 ②高垣 マユミ（津田塾大学） 「授業コンサルテーションを支援するアプローチ -学習環境をデザインするための研究と実践-」 ③松尾 直博（東京学芸大学） 「発達心理学を生かした学校心理学 ～現代的な教育課題と関連させて～」 ④三原 聡子（久里浜医療センター） 「スクールカウンセラーが現場でできるネット・ゲーム依存の支援と予防」 ⑤小林 玄（東京学芸大学） 「学校現場における検査結果の活用 ～WISC-V (IV)やKABC-IIのアセスメントを通して～」 ⑥三川 俊樹（追手門学院大学） 「カウンセリングにおけるスーパービジョンの活用」 ⑦村中 智彦（新潟大学） 「自閉症スペクトラム障害といじめ行動 -応用行動分析から見た理解と予防支援-」 ⑧瀧野 揚三（大阪教育大学） 「学校のリスクマネジメントとクライシスマネジメント」
	SV研修①②③ SV研修① SV研修Ⅰ 山口 豊一（聖徳大学） 「学校心理士の倫理」 SV研修② SV研修Ⅱ 会沢 信彦（文教大学） 「教師にとっての教育相談」 SV研修③ SV研修Ⅲ 相楽 直子（創価大学） 「養護教諭が行う心理教育的援助サービス」
	准士研修：准学校心理士のみを対象とした研修（学校心理士・SVの方はポイント申請不可）

	藤原 和政（兵庫教育大学） 「教育実践をケースレポートとしてまとめる際の留意点について」
	ポスター発表 《筆頭発表者 F: 3ポイント 連名発表者 H: 1ポイント》 ※質問受付期間 10月24日（木）～10月28日（月） ※回答期間 10月24日（木）～11月5日（火）

2. 資格更新ポイントについて

本大会における最大取得ポイントは「上限を8ポイント」とします。
ただし、ポスター筆頭発表者は上限10ポイントまで可能です。

例) **基調講演(A)1P+研修講座(A)1P×6+大会参加(I)1P 計8P**

例) ポスター筆頭発表者の場合

基調講演(A)1P+研修講座(A)1P×6+ポスター発表(F)3P 計10P

- (1)大会への参加によってI(1ポイント)が付与されます。ただし、F、Hポイントを取得した場合、Iポイントは認められません。
- (2)F、H、Iポイントのうち、認められるのはどれか1つのみとなります。
- (3)「基調講演」は、基調講演1、基調講演2、指定討論をすべて受講することでA(1ポイント)です。
※基調講演は10月27日(日)10:00～12:00のライブ講演の他、10月29日以降～11月5日までオンデマンドで見逃し配信も可能にする予定です。いずれの場合にもポイント取得は可能です。
- (4)「ポスター発表」は、筆頭発表者がF(3ポイント)、連名発表者がH(1ポイント)です。
ただし、連名発表者として複数の発表に参加してもHは1ポイントのみです。なお、「ポスター発表」に視聴者として参加していただくことへのポイントの付与はありません。
- (5)「研修講座①～⑧」への参加は、各A(1ポイント)です。
- (6)「准士研修」への参加は、A(1ポイント)です。ただし、准学校心理士のみを対象とした研修講座で、学校心理士・学校心理士スーパーバイザーの方が参加してもポイントは取得できません。
- (7)「SV研修①～③」は、学校心理士スーパーバイザー有資格者を対象とした研修講座で、学校心理士ならびに准学校心理士の方は参加することはできません。研修領域については研修一覧をご覧ください。

3. 受講方法について

研修講座①～⑧ならびに准士研修(准学校心理士対象)は、すべての方が視聴することが可能です。ただし、SV研修①～③は学校心理士スーパーバイザーの方のみ視聴可能です。
また、研修講座での取得可能ポイントは最大で6ポイントまでとさせていただきます、ポイント申請する場合は事前の申請が必要となります。これまでの士会大会、ならびに今後の士会大会のポイント取得数を勘案し上限を設定します。参加者別に研修講座での取得ポイントは下記のようになります。

- (1)学校心理士会員・ガイダンスカウンセラーは、研修講座①～⑧の中からご希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

(2) 准学校心理士は、准士研修ならびに研修講座①～⑧の中からお希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

(3) 学校心理士スーパーバイザーは、SV研修①～③ならびに研修講座①～⑧の中からお希望の研修講座を選んでください。申請可能なポイントの上限は「6ポイント」までとなります。

4. 事前参加申込について

大会ホームページにアクセスしていただき、『事前参加申込』ページ内の「事前参加・発表申込」ボタンよりお手続きください。

入力完了後、登録された E-mail アドレスに確認メールが配信されます。ご登録いただいた後、諸費用を払い込みください。事前に参加申込いただいた方のみ視聴可能です（当日参加受付はありません）。

○ 大会参加申込締切 10月15日（火）

○ 大会ホームページ <http://conference.wdc-jp.com/gakkoushinrishi/2024/>

①大会ホームページの『事前参加申込』ページ内の「事前参加・発表申込」ボタンをクリックして表示されるページ上で「ログイン ID を取得」をクリックしてください。

②各情報を入力いただくとご登録いただいたメールアドレス宛にログイン ID 発行通知が配信されます。

③発行通知に記載されたログイン ID を用いてシステムにログインしてください。

④システム上で参加登録・発表申込が可能です。

参加登録に関する各種締切は下記の通りとなります。

【各種締切】

○ 郵便振替申込締切（以降クレジット決済のみ） 9月25日（水）

○ 参加申込締切 10月15日（火）

(2) 大会参加登録の流れ

上記「事前参加・発表申込」より参加申込する際に、参加を希望する研修を最大6つまで選択してください。本大会では、研修講座によるポイント（A）は最大6ポイントまで取得が可能です。

(3) ポスター発表申し込みおよび論文投稿について

上記「事前参加・発表申込」より発表申し込みおよび論文の投稿をいただけます。

なお、ポスター発表申込締切後、倫理審査後に発表スライド PDF（A4 サイズ）の投稿が可能になります。（後日別途ご案内となります）

○ ポスター発表申込および原稿提出締切 8月30日（金）

○ 申込および原稿提出先 <http://conference.wdc-jp.com/gakkoushinrishi/2024/>

(4) 受講証の発行について

後日公開のプラットフォームサイト上にて発行可能となります。受講証の氏名は参加登録時の情報が掲載されますのでご注意ください。詳細は、今後の HP 更新にてご連絡させていただきます。

(5) 合理的配慮（アクセシビリティ関連）について

大会期間中、障害のある方を対象にアクセシビリティ・サービスを提供いたします。詳しくは、大会ホ

ホームページに掲載いたしますのでご参照ください。

5. 諸費用払込み方法について

諸費用の払い込みは、クレジットカード決済と郵便振替をご用意しています。それぞれ「事前参加・発表システム」よりお申し込みください。なお、郵便振替を選択された方はご登録いただいたメールアドレス宛に、振込先情報の掲載された完了通知が配信されます。

記載内容をご確認いただきお振込みをいただきますようお願い申し上げます。郵便振替に伴う手数料については各自ご負担でお願いします。

【大会参加費】

種 別	金 額
学校心理士会員（学校心理士スーパーバイザー含む）	7,000 円
准学校心理士の資格を有している方	3,000 円
ガイダンスカウンセラー	7,000 円

※ 非会員の方は参加できません。

※ 非会員でポスター連名者の方の参加費は発生いたしません。

6. ポスター発表要項について（※発表者への案内となります）

(1) 発表の方法

ポスター発表については、質疑応答システムにより下記の「質問受付期間」と「回答期間」を設けております。発表者の皆様には参加者からの質問があった場合は、期間内にご回答をお願いします。

質疑応答システムについては大会ホームページに今後情報が掲載されます。

○質問受付期間 10月24日（木）～10月28日（月）

○回 答 期 間 10月24日（木）～11月5日（火）

(2) 発表の要件

本大会はオンデマンド開催となるため、発表原稿投稿と質疑応答を行うことで発表が認定されます。

(3) 発表資格

筆頭発表者は、日本学校心理士会の正会員でなければなりません。また筆頭発表者は、発表申込、大会参加費、発表論文集原稿に関わるすべての手続きを、所定の期日までに行っていなければなりません。非会員の方は参加できません。また非会員でポスター連名者の方の参加費は発生いたしません。

(4) 論文原稿作成要領

ポスター発表用の論文のフォーマットは「各種ダウンロード」のページからダウンロードできます。

原則として、研究の目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述してください。なお、事例発表には、個人情報保護・プライバシーへの配慮をお願いいたします。発表1件あたり、発表論文集の見開き2ページを充てます。作成していただく原稿は、A4判、横書き、2段組とし、1ページ目に題目、発表者氏名、所属機関名を記載し、2ページ目は論文のみとしてください（レイアウト図を参照）。なお、実際の論文集の大きさはA4判になります。

発表者は、「日本学校心理士会大会発表倫理規定」を遵守して、原稿の作成・発表を行ってください。

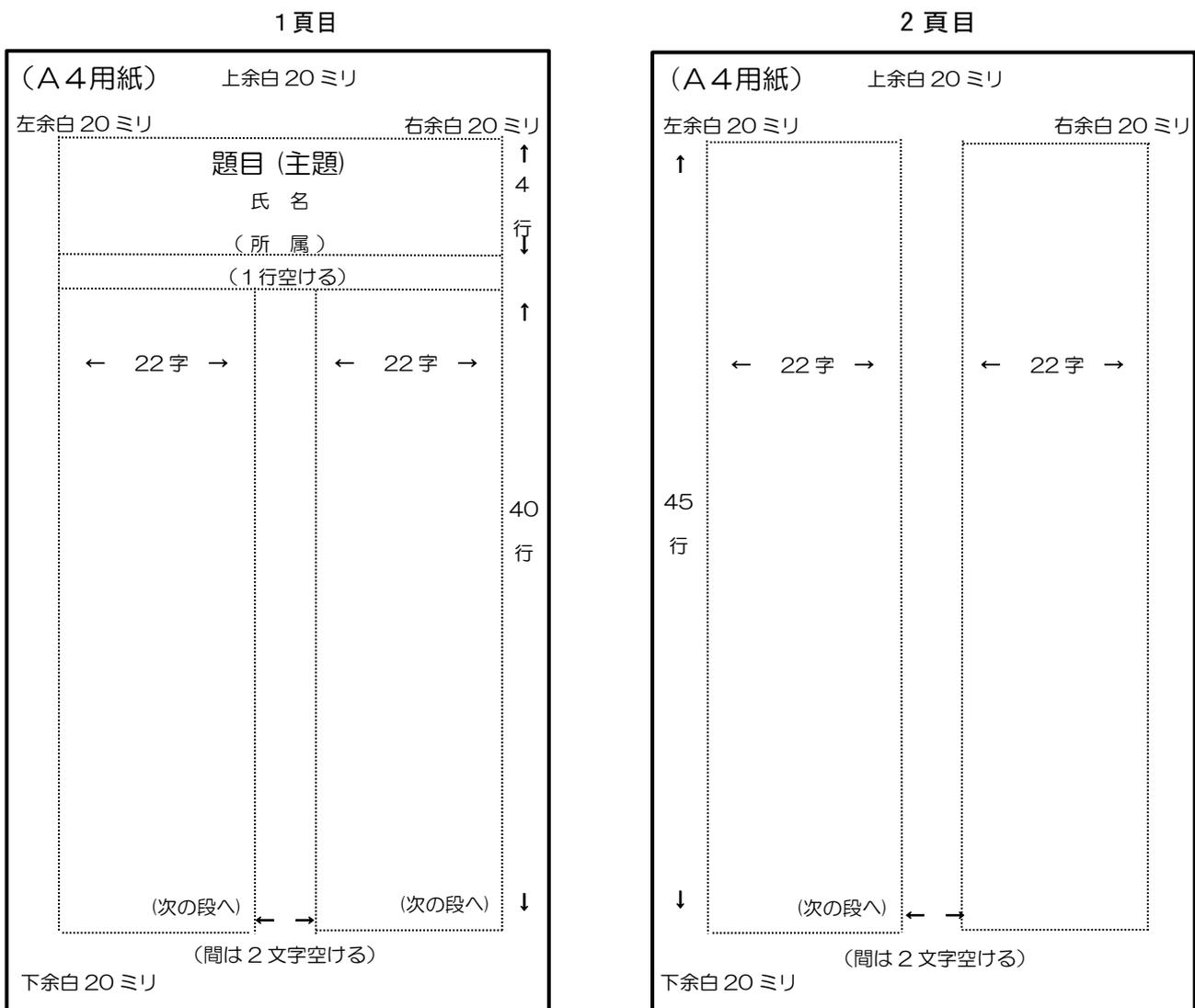
① 題目・氏名・所属・本文の記入方法(レイアウト図参照)

- (a) 「題目」は、4倍角(普通の文字[全角]の2×2字分)程度の大きさに、上から第1行目と第2行目に記述する。
- (b) 「氏名」は、第3行目に記述する。また、連名の場合には筆頭発表者の氏名の前に○を付ける。
(連名の場合で名前の前に○がない場合は、最初の方を責任発表者とします。)
- (c) 「所属」は、第4行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。
- (d) 「本文」は、「所属」の行から1行空けたところ(第6行目)から書き始める。
- (e) 会員外の連名発表者については、氏名の後に#印を付ける。

② 図と表の記入法

印刷して仕上がったときの縦横の縮小率は、原稿を1とすると約0.9です。図や表の記載量についての制限はありませんが、すべてが印字の枠の中に収まるようにしてください。写真は図として扱います。原稿をアップロードすることを考慮して、容量が大きくなるようにしてください。

〔レイアウト図(A4判縦置き)〕



【注】 上図に示した行数および1行の文字数は、おおよその目安とお考えください。

ただし、指定の行数±3行、指定の文字数±3字の範囲内でお書きください。

(5) 論文原稿およびポスターの送付について

プラットフォームサイト公開用にスライド PDF 原稿を 20 枚以内で作成、提出していただきます。各登録は「事前参加・発表申込」よりご登録が可能です。ポスター発表に関する各種締切は下記の通りとなります。ポスターは PDF 原稿のみとし、MP4 などの動画による発表は受け付けません。

【各種締切】

- 発表申込・原稿投稿締切 8月30日(金)
- スライド PDF 投稿締切 10月10日(木)

日本学校心理士会大会発表倫理規定

1. 人権の尊重

- 発表者は、調査や面接などに先立ち研究協力者からインフォームド・コンセントを書面で得なければならない。
- 発表者は、調査や面接などでデセプション（虚偽）の方法を用いる場合、それが研究協力者に負の影響を与えないことを確認した後、研究を実施し、調査や面接の終了後にデセプションを用いた理由を説明しなければならない。

2. 個人情報の秘密保護の厳守

- 発表者は、得られた研究協力者の個人的な資料を厳重に保管し、秘密の保護に責任をもつ。同意を得た本来の目的以外には使用してはならない。

3. 発表に伴う責任

- 発表者は、発表のもたらす人道的・社会的意義に十分に配慮し、専門家としての責任を十分自覚して発表しなければならない。
- 発表者は、プライバシーに関する責任をもつ。個人のプライバシーを侵害してはならない。
- 発表者は、共同研究者の権利に配慮して連名の承諾を得なければならない。すべての共同研究者は、研究に積極的にかかわり、そのもたらす結果について共同の責任をもつ。
- 発表者は、研究のために用いた資料等について、著作権に配慮し出典を明記する。また、差別的な用語や不適切な表現のないように留意しなければならない。

4. 研鑽の義務と倫理の遵守

- 発表者は、本倫理規定を十分に理解し、遵守するための研鑽の機会をもつように努めなければならない。また、すべての発表者は、学校心理学の研究および実践活動において、本倫理規定を十分に理解し、遵守する。

【参加・発表申込に関するお問い合わせ】

日本学校心理士会 2024 年度大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

E-mail : gakkoushinrishi-desk@ (conf.bunken.co.jp を付けてください)

【学校心理士資格更新、ポイントに関する問い合わせ先】

一般社団法人 学校心理士認定運営機構

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-32-1 BLISS 本郷ビル 3F

TEL: 03-3818-1554 FAX: 03-3818-1588 ※質問はメールでも受付けています。

E-mail: office@gakkoushinrishi.jp ※Email を送る際は◎を@に変更して下さい。